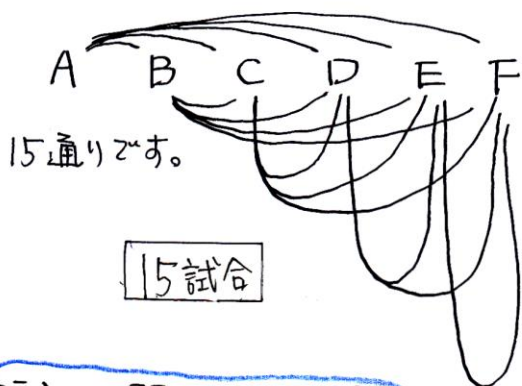


[必修例題6]

野球の大会に6チームが参加しました。

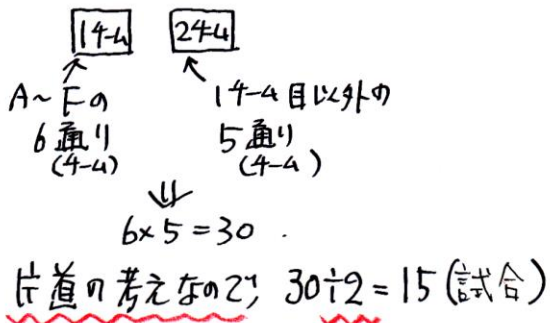
- (1) 各チームと1試合ずつするリーグ戦をするとき、全部で何試合しますか。
 (2) トーナメント戦をするとき、優勝が決まるまで、全部で何試合しますか。

(1) リーグ戦とは総当たりの試合のことです。
 野球は2チームで対戦しますから、A, B, C, D, E, Fの6チームがあるとき、「2チームの組み合わせが、いくつできるか」ということです。
 A-Bの試合もB-Aの試合も同じですから「片道切符」の考えです。

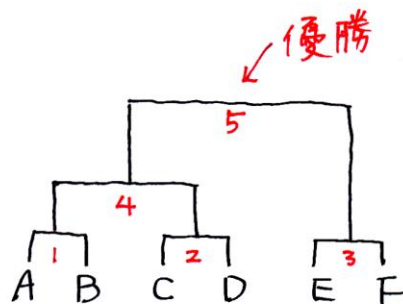


(注) 例題2のとき10通りなので、A-F, B-F, C-F, D-F, E-Fの5通りを付け加えると15通りです。

[計算と出す方法]



(2) トーナメント戦とは「くじ引き」などで対戦相手が決められ、順々決勝、順決勝、決勝などのように、勝ち抜いていく戦い方法です。



5試合

[公式]

Nチームあるときの試合数
 リーグ戦... $N \times (N-1) \div 2$
 トーナメント戦... $N-1$



(1) $6 \times (6-1) \div 2$
 $= 6 \times 5 \div 2$
 $= 15$ (試合)

(2) $6-1 = 5$ (試合)